

X線応力測定



応力を非破壊で検出！

溶接線近傍の残留応力，ショットピーニングの効果，静荷重の検出など設備・インフラのメンテナンスにおけるその場測定が可能です。

対象材料：炭素鋼，ステンレス鋼、他

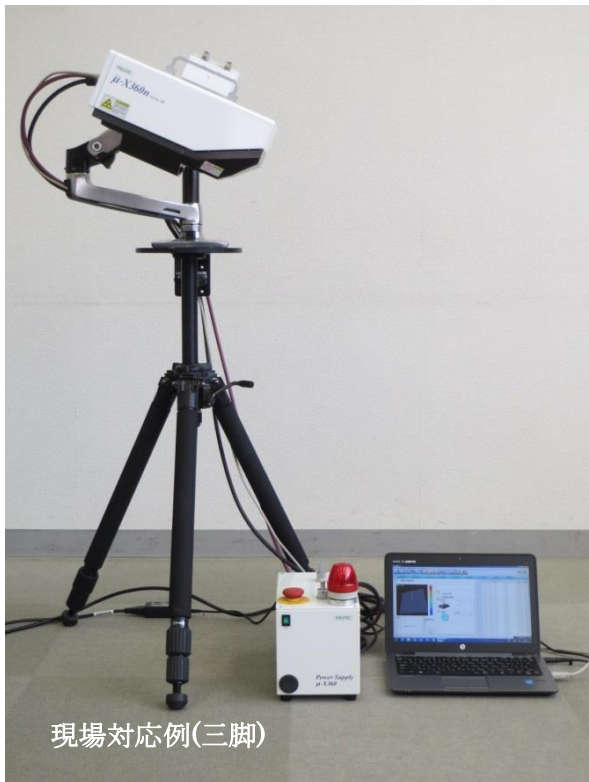
- 特徴：
- 測定が高速で行える（炭素鋼 約 90sec）
 - 回折環全周のデータを取得し $\cos \alpha$ 法適用
 - 試料のセットが容易（± 5 mm の許容範囲）
 - 大型構造物もオンサイト・非破壊で測定可能

応力が関与する損傷の主なもの

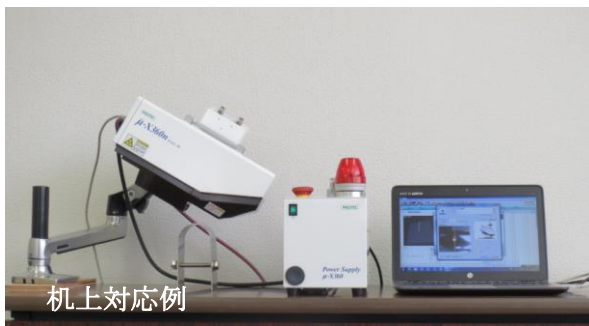
- 疲労破壊，応力腐食割れ，過荷重変形・破断

持ち込み試験片

- 溶接・肉盛，熱処理，機械加工などに係る試験片およびこれら施工の小物部品



現場対応例(三脚)



机上対応例

ひずみゲージによる測定結果との比較 1 : 1 の相関を確認

